

学校教育目標	なかよく かがやいて おたがいに高め合う子			
	○課題解決に向けてねばり強く取り組む子を育てます。(知) ○触れ合いを通して、人を思う心を育てます。(徳) ○心身を鍛え、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○地域や人とのつながりを大切にして共に生きる子を育てます。(公) ○社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)			
学校概要	創立 45 周年	学校長 廣瀬 ユミ	副校長 佐々木 和美	2 学期制
	児童生徒数: 295 人	主な関係校: 横浜市立希望ヶ丘中学校		
一般学級: 11		個別支援学級: 3		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力> <持続可能な社会の実現に資する能力>	希望が丘中学校 東希望が丘小学校 笹野台小学校 中尾小学校	・課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども ・互いを認め合い、社会とのかかわりを大切にできる子ども ・目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども ・横浜市学力・学習状況調査の結果を分析するなどしながら、中学校区の子どもの特性を理解する。 ・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。 ・小学校と中学校の授業を相互に見学することにより、子ども像を共有する。

中期取組目標	○子どもにとっても、教職員にとっても笑顔あふれる学校づくりを目指します。 ・自主性とコミュニケーション能力の育成を重点化し、教育内容を精選、実践します。 ・わかる授業、みんなが参加できる授業づくりを行います。 ・問題行動(いじめや不登校など)未然防止のための取組を教職員一丸となって行います。 ・心身ともに健康な子どもの育成のために、心と身体のバランスを考えた健康教育を行っていきます。 ・地域をはじめとしたさまざまな人とのつながりを大切に、自分のまちを愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	① ESDの視点を持ち、子どもの自主性(主体性)とコミュニケーション能力を引き出したり生かしたりしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善に取り組む。 ② 問題解決的な学習の過程を大切に重点研究に取り組む。
徳	豊かな心	① 「ほめて育てる」教育を推進し、自他のよさに気づき、自己有用感のもてる子どもを育成する。 ② 異学年交流「ふれあい学年交流」や道徳、特別活動の授業の充実を図り、互いのよさを認め合いながら、人権を尊重する心や相手を思って行動しようとする態度を養う。
体	健やかな体	① 「食育」を推進したり、運動しやすい環境を整えたりしながら、たくましく生きようとする力を培い、心と身体のバランスのとれた健康教育を行う。 ② 年間を通して「歯の健康」を促進する活動に取り組む。
公	自分づくり教育(キャリア教育)	① 「自分づくり・パスポート」を活用しながら、社会や将来を意識し、学ぶことや働くことの意義を考えられる場を学習に位置付ける。 ② 子どもたちが社会で活躍している人の講話を聴く機会を設け、キャリア教育に役立てる。
いじめへの対応		① 月1回、全教員が参加して「いじめ防止対策委員会」を開き、情報交換と事案の共有を図り、丁寧に対応する。 ② 事案に対しては、学年や学校全体で、児童支援専任を中心に、迅速かつ組織的対応をする。
人材育成・組織運営(働き方)		① ミドルリーダーが学校運営の視点をもって職務遂行できるよう、指導、助言の充実を図る。 ② 教職員の研修等を充実させ、授業力や児童理解力の向上を図る。 ③ ICTを活用した事務作業や情報共有の効率化、会議や業務の精選などを通して、組織の活性化を図る。
特別支援教育		① 障がいのある児童や保護者の思いや願いを大切に、所属学級を含む一般学級と個別支援学級が連携してインクルーシブ教育を推進する。 ② 環境整備や合理的配慮の理解を図ったり、センター的機能を活用して関係機関と連携したりして、適切に支援する。
児童指導		① ユニバーサルデザインの視点から「中尾スタンダード」の改善や活用に取り組み、全職員と保護者・子どもたちが過ごしやすい学校にしていく。 ② 職員会議内の「児童理解の時間」を通して、全教職員で児童の状況を共通理解する。
地域連携		① PTAや地域コーディネーターの協力を得ながら、地域協働型の教育活動を推進し、子どもの問題解決能力の育成を目指す。 ② 学校運営協議会の開催や地域防災訓練などへの積極的な参加を通して、地域との連携を深める。
担当		